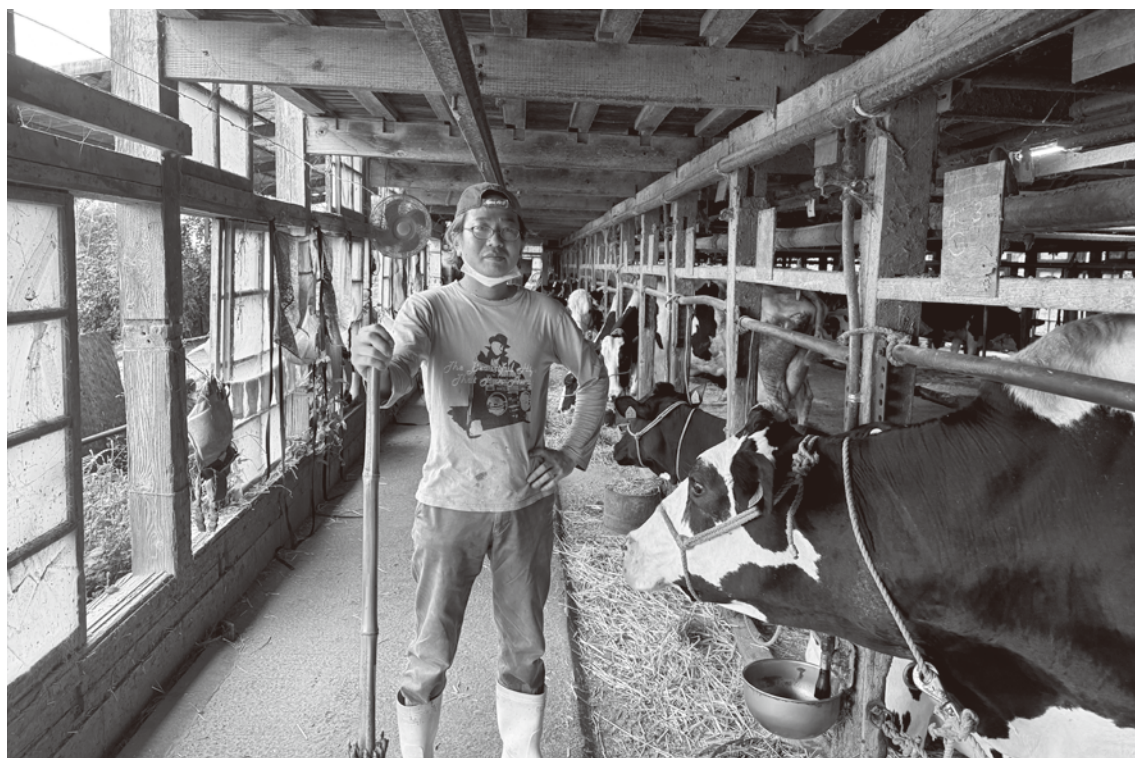


岡山畜産便り

2025 10



奈義町 松原 敬一さん(酪農)

も く じ

〔特集〕

岡山県産豚肉の価値向上へ向けて
～目指すは「ファンづくり」岡山県養豚振興協会の取り組み～
岡山県養豚振興協会…………… 1

〔自給飼料施策〕

岡山県における『耕畜連携』の取組について
岡山県農林水産部畜産課…………… 3

〔技術のページ〕

牛伝染性リンパ腫(EBL)のまん延防止に向けて
～発症抵抗性牛の発掘と作出～
畜産研究所 和牛飼養研究グループ…………… 5

〔県民局だより〕

「津山の情熱、奈義の誇り」
～ultra soulでブランド和牛の魅力を伝えるってばよ!～
美作県民局畜産第一班…………… 7

〔家保のページ〕

養豚場での埋却予定地試掘調査を行いました
高梁家畜保健衛生所…………… 9

〔家畜衛生情報〕

牛伝染性リンパ腫の対策に取り組みましょう!
～補助事業を活用し、感染リスクを減らしましょう～
(一社)岡山県畜産協会 家畜衛生部…………… 11

〔家畜衛生情報〕

豚の家畜防疫互助基金における生産者積立金追加
納付のお願い
(一社)岡山県畜産協会 家畜衛生部…………… 13

〔共済フレッシュさん〕

転職後半年を終えて
美作家畜診療所 安藤 湧希…………… 14

〔畜産現場の声〕

試行錯誤の酪農経営
奈義町 松原 敬一…………… 15

FOSS

乳・乳製品・飼料分析ソリューション



【BacSomatic™】

乳中の体細胞数・細菌数を同時に短時間で測定可能！

乳房炎、衛生状況のモニタリングや原料乳受け入れ現場でのスクリーニング検査の効率化を実現できます。

測定項目：細菌数(IBC、CFU)、体細胞数

測定対象：生乳



【MilkoScan™ Mars】 FT-IR乳成分分析装置

生乳成分を1分で測定する、コンパクトモデル！

生乳の品質管理、原料乳の標準化、製造管理の効率化を高い次元で支援します。

測定項目：脂肪、タンパク、乳糖、全固形、無脂固形、氷点(加水)

測定対象：生乳、製品乳



【NIRS™ DS2500F】 NIR分析装置

飼料、飼料原料の複数成分を1分で同時分析！

TMRセンターでの飼料設計、飼料品質の最適化を支援します。

測定項目：脂肪、タンパク、水分、灰分、スターチ、粗繊維など

測定対象：飼料、飼料原料、配合飼料

ANALYTICS BEYOND MEASURE

フォス・ジャパン株式会社

セールス・サービス拠点：札幌・大阪・福岡

TEL: 03-5962-4811 / Mail: info@foss.co.jp

ホンモノは、おいしい。
OHAYO

カラダの健康を、根本から。

今日からはじめる体内菌質ケア

「日々お口にするものから、大切な人の健康を支える存在でありたい」
そのような想いから、カラダの根本を考え、体内にすむ500兆個の細菌バランスへのアプローチに着目したロイテリ乳酸菌ヨーグルトを開発しました。

ロイテリ乳酸菌は、
お口から腸まで、様々な場所に生きて届く、
細菌バランスを考える方に送りたい、
特別な善玉菌です。

ロイテリ乳酸菌ヨーグルトを通じて、
おいしさを楽しんでいただきながら
お客様とその家族の健やかな笑顔を増やしていきたいと、
強く願っています。

家族で
つづける
新習慣

お口から
腸まで
生きて届く

ヒト由来の
乳酸菌



●商品名：ロイテリ乳酸菌ヨーグルト ●種類別：発酵乳 ●内容量：110g
●成分：無脂乳固形分 10.0% / 乳脂肪分 2.0%
●原材料名：生乳(国産)、乳製品、乳たんぱく、ゼラチン/甘味料(キシリトール)
●賞味期間：17日間(未開封) ●保存方法：要冷蔵(10℃以下) ●販売地域：全国
※キシリトール配合のため、体質によりおなかが緩くなることがあります。※ペットには与えないでください。

オハヨー乳業株式会社

〔特 集〕

岡山県産豚肉の価値向上へ向けて ～目指すは「ファンづくり」 岡山県養豚振興協会の取り組み～

岡山県養豚振興協会

1. はじめに

これまで畜産業界では、安全で高品質な生産物を安定的に供給することに主眼が置かれてきました。これは国の食を支えるという重要な使命を果たすうえで不可欠なものでしたが、その一方で、生産者一人ひとりのこだわりや想いといった「価値」を、消費者へ直接届ける活動が大きな課題となっていました。

特に養豚業を取り巻く環境は厳しく、低価格な輸入肉との競争に加え、国内でも400以上の銘柄がひしめき合っています。消費者の価値観が多様化し、「より良いものを選択したい」というニーズが高まる中、いかにして自分たちの豚肉の魅力を伝え、選ばれる存在になるかが問われています。

このような状況の中、戸数19戸（全国31位）、飼養頭数45,600頭（全国31位）（令和6年2月1日現在）という岡山県の養豚業の規模を踏まえれば、私たちが目指すべきは量の拡大ではなく、岡山県産豚肉そのものの価値を高めていくことであると考えています。現在は、県内での種豚供給が終了し、多くの生産者が独自の飼料や飼育法でオリジナル銘柄を築いています。この多様な取り組みが、岡山県の養豚の魅力であり、強みでもあると言えます。そのため、県全体で一つの銘柄を統一するよりは、それぞれの特色を活かしながら連携を強めていく方向が望ましいと考えます。

だからこそ、私たち岡山県養豚振興協会は、個々の銘柄の魅力を包括する「岡山県産豚肉」の価値そのものを向上させ、それを確実に消費者の皆様へ届け、信頼を得ていく必要があるのです。

2. 目指すは、繰り返し選んでくれる 「ファンづくり」

では、「岡山県産豚肉」の価値向上とは何でしょうか。私たちの活動がめざすもの、それは一言でいえば「ファンづくり」です。

単に「県産豚肉を買ってください」とお願いするものではありません。「やっぱり岡山の豚肉は美味しい」「あの農家さんがつくっているから安心だ」と、その価値を理解し、繰り返し選んでくれるファンを一人でも多く増やすこと。それこそが、価格競争から一線を画し、生産者の皆様の努力が正しく評価されるための第一歩です。

3. ファンづくりの前に立ちはだかる 「2つの壁」

しかし、その理想の前に、私たちは厳しい現実を直視しなければなりません。先日実施した消費者アンケート（有効回答数258人）から、大きな「2つの壁」が明らかになりました。

一つは「認知の壁」です。回答者のうち43%（112人）もの人が県内の銘柄豚を一つも知りませんでした。そしてもう一つが「配荷の壁」です。ブランドを知らないと答えた人の約53%（60人）が、その理由を「いつも購入する店で見当たらないから」と回答しています。

つまり、「そもそも知られていない」、そして「知る機会すらない」という現状があるのです。

私たちの活動は、この2つの壁を乗り越えることに集約されます。

3. 「2つの壁」を越えるための取り組み

この現状を踏まえ、私たち養豚振興協会は、具体的な活動を始めています。

(1) 体験の場の創出 イベント出展

県内各地のイベント出展は、消費者と直接つながる、またとない出会いの場です。ブースで焼く豚串の香ばしい匂いは、『美味しそう!』という期待感を抱かせ、まず一口試してもらうための最高のきっかけになります。情報が溢れる現代だからこそ、こうした顔の見える対話と、記憶に残る「美味しい」という実体験が、何よりのPRになると考えています。

今年8月、玉野市の「宇野港フランスフェスティバル」では、ピーチポークの串焼き300本を販売しました。お客様が豚串を頬張り、「ジューシーで美味しい!」といいながらの笑顔に、新しいファンが生まれた確かな手応えを感じました。



フランスフェスティバル 出展の様子

11月には、津山市のもみじまつりで、奈義町（有）協和養豚さんの「豚肉の炭火串焼き」と津山市（有）日笠農産さんの「津山黒豚のフランクフルト」を販売します。こうした地域の行事への参加を通じて、私たちの豚肉が地域の皆様にとってより身近な存在になっていく。お客様から直接いただく「美味しい!」の一言、その積み重ねが、お客様との繋がりを確かなものにしていくのです。

(2) 未来への種まき 食育活動

未来の消費者を育てる食育活動も、長期的な視点に立った大切な取り組みです。8月には全農岡山県本部主催の「食の学校

2025」に協賛し、県産豚肉等の提供の他、子供たちにクイズ形式で養豚業を紹介しました。豚肉が食卓に届くまでの物語を知ることで、食べ物への感謝と共に、地元で頑張る生産者への親しみが芽生えます。すぐに結果が出る活動ではありませんが、こうして地域社会の子供たちに、私たちの仕事への理解と関心を深めてもらうこと。それこそが、10年後、20年後の岡山県の養豚業を支える、大きな力になると信じています。



食の学校2025 クイズの様子

4. 力を合わせ、価値を届けるために

この「ファンづくり」を一過性のものとせず、県全体で活動の輪を広げていくためには、私たち養豚振興協会と、生産者・畜産関係者の皆様がたとの連携がより一層重要になります。

養豚振興協会が、生産者の皆様とともにそのご意見を伺いながら、イベント企画やメディアへの情報発信を通じて、「岡山県産豚肉」全体の認知度向上に努めてまいります。今年、私たちの活動が新聞やテレビで複数回取り上げていただけたことは、その手応えの一つと感じています。

そして、個々の生産者の皆様には、ご自身の豚が持つ独自の個性や物語を、SNSや直売所などでお客様へ直接伝えていただくこと。また、関係者の皆様には、それぞれの立場からその魅力を発信していただくこと。こうした一つひとつの取組が合わさることが、岡山県全体の価値向上に繋がると考えています。

今後も皆様との連携を大切にしながら、一歩ずつ着実に活動を進めてまいりますので、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

〔自給飼料施策〕

岡山県における『耕畜連携』の取組について

岡山県農林水産部畜産課

1 はじめに

県では持続的な畜産経営と水田経営の確立を図るため、耕畜連携の推進により水田の有効活用と農家の経営安定につながる県産飼料の生産拡大に取り組んでいます。

しかし昨年から、主食用米の価格が全国的に高騰し「令和の米騒動」とも呼ばれる状況となったことから、県産飼料の生産に影響が出ています。県内においても、令和7年6月末現在の生産者の作付意向を取りまとめた調査では、稲WCSが約500ha、飼料用米が約300haとなっており、前年と比較して稲WCSは横ばい、飼料用米は約800haの減少となっています。

このような状況ではありますが、県では耕畜連携による飼料生産の拡大を図るため、引き続き耕畜連携体制の構築やマッチングの推進に取り組んでいます。

2 昨年度の研修会について

稲WCS、特に極短穂茎葉型品種の生産・利用推進を目的に、令和7年2月に岡山市内で研修会が開催されました。

研修会では、県農林水産総合センター各研究所から県内の生産状況について紹介がありました。また、一般社団法人日本草地畜産種子協会の飼料稲アドバイザーから、「広島県における稲WCS生産利用推進」として講演いただきました。極短穂茎葉型品種とは、稲WCS専用のモミの割合が少ないタイプで、たちすずか・たちあやか・つきすずか等、専用品種と呼ばれているものです。

まず、専用品種の特徴を改めて説明いただきました。

- 穂の割合が少ないため不消化モミが少なく、栄養価が高い
- 茎葉に糖が蓄積することで発酵品質が良く、嗜好性も良い
- 茎葉部の繊維の消化率が高くよく食べる
- 穂の割合が少ないことから稲の重心が低く、倒伏しない
- 出穂後の収穫適期が長い

このように専用品種には、飼料としてのメリット・収穫上のメリットがあります。

また牛への給与については、タンパク質が低く、TDNが高いこと、 β -カロテン含量が多いこと等から、給与量に注意するよう説明がありました。

なお広島県では、専用品種はTMRの材料として利用されていることが多いようです。

さらに栽培に関しては、稲WCS利用を想定した茎葉多収の場合、生育前半、特に出穂前30日から40日の窒素施用が有効であると強調されていました。



写真1 極短穂品種の生産利用について説明

その後、昨年度単県事業を活用して設置した飼料保管庫を視察しました。保管庫は耕種農家が設置し、畜産農家に粗飼料を配達するまでの間、乾燥稲わらを保管しています。この施設は、直径約1mのロールを520個程度保管することが可能です。



写真2 耕種農家が粗飼料の保管庫について説明

参加者に研修会のアンケートを行ったところ、各研修内容を「よく理解した」・「ほぼ理解した」が90%を超え、各講師から丁寧に説明していただいた結果と考えております。

今年度は11月10日（月）に奈義町において、稲WCSの肥育牛への利用をテーマとした研修会を開催いたしますので、ご興味がおありの方はぜひご参加をお願いします。

3 今年度を実施している単県事業の概要

県では耕畜連携による飼料生産の拡大を図るため、次の事業を展開しています。

詳しい事業の内容については、最寄りの県民局畜産班にお問い合わせ下さい。

（1）水田飼料作付拡大事業

水田の裏作として生産されるイタリアンライグラス等の飼料作物については、乳用牛・肉用牛農家で利用が可能で一定の需要があり、比較的マッチング成立の可能性が高いものです。また、主食用米への作付転換の影響を受けることがないことから、今

後も生産の拡大が期待されており、県では耕種農家等の前年からの作付拡大面積に対して、定額（1万円／10a）助成を行っています。



写真3 イタリアンライグラスの収穫
（令和7年5月、総社市）



写真4 飼料用オムギの収穫
（令和7年4月、矢掛町）

（2）岡山県耕畜連携体制強化対策事業

県産飼料の生産・利用に必要な保管施設整備、並びに機械導入に係る経費の一部を支援しています。（補助率：1/2以内）

4 今後の取組

今秋は昨年以上に主食用米価格が上昇しており、来年の稲WCSや飼料用米の確保が見通せない状況となっています。また国では、令和9年度から水田政策を見直すとされており、これらの動向を注視しながら、今後も稲WCS等の安定生産に向けた施策を展開してまいります。

牛伝染性リンパ腫(EBL)のまん延防止に向けて ～発症抵抗性牛の発掘と作出～

岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 和牛飼養研究グループ

1 はじめに

牛伝染性リンパ腫の大部分を占める地方病性牛伝染性リンパ腫（以下、EBL）は、牛伝染性リンパ腫ウイルス（以下、BLV）の感染により引き起こされる悪性腫瘍疾患です。EBLがと畜場で発見された場合は全廃棄となるなど、畜産への被害は甚大なものとなっています。

近年、EBLの発生数は増加の一途をたどり、国内においては、届出伝染病に指定された平成10年の99頭から令和6年には4,420頭と大幅に増えています。また、本県においても同様の傾向で、平成10年の0頭が令和6年には64頭に増加しています（図1）。

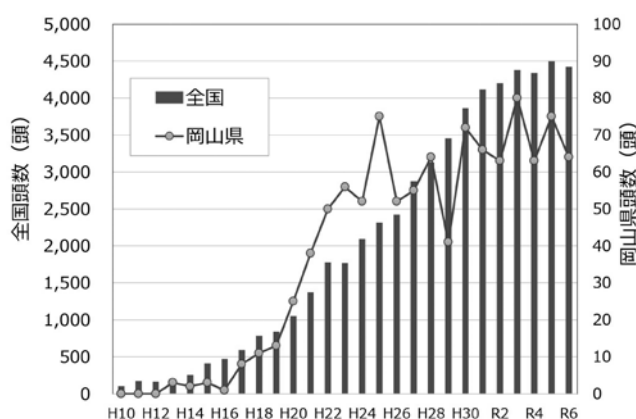


図1 牛伝染性リンパ腫発生数の推移

しかしながら、EBLに対しては有効なワクチンや治療法はありません。対策としては、感染牛の隔離や淘汰、ウイルスを媒介する吸血昆虫の防除が行われていますが、発生数の減少に至っていないのが現状です。

このような状況の中、近年EBL発症に対

して遺伝的に抵抗性を示す牛（以下、抵抗性牛）が発見されました。抵抗性牛はBLVに感染しても体内でのウイルス量が増えにくく、EBL発症や他の牛への感染リスクが低いとされています（図2）。

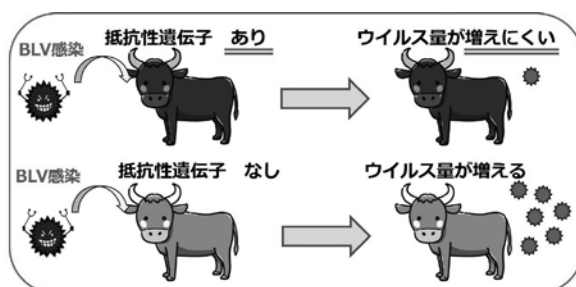


図2 抵抗性遺伝子の効果

そこで、当研究所ではEBLのまん延防止に向けて、県内和牛繁殖雌牛における抵抗性牛の有無を調査するとともに、抵抗性牛の作出や活用方法の確立に取り組んでいます。

2 県内和牛繁殖雌牛における抵抗性牛

当研究所を含む県内8農場の黒毛和種繁殖雌牛754頭において、抵抗性牛の有無を調査しました。その結果、抵抗性牛が12頭いました。存在率では1.59%と非常に低い割合ではあるものの、県内に抵抗性牛が存在することがわかりました（表1）。

表1 県内和牛繁殖雌牛における抵抗性牛

調査牛 (頭)	うち抵抗性牛 (頭)	抵抗性牛の割合 (%)
754	12	1.59

また、種雄牛に関して調査したところ、近年の県基幹種雄牛においては「秋藤花国」（写真1）のみ抵抗性牛であり、抵抗性牛は貴重な存在であることがわかりました。



写真1 抵抗性種雄牛「秋藤花国」

抵抗性牛の特徴として、血統的には特定の種雄牛や雌牛に由来していると考えられました。また、産肉能力は全体的に低い傾向でした。

今後、抵抗性牛を増やしていくためには、抵抗性牛の活用方法を確立して普及させることや産肉能力の改良による市場性の向上を図る必要があります。

3 抵抗性牛を用いた感染防止効果の確認

抵抗性牛の活用方法を確立するため、和牛繁殖農場において試験を行い、抵抗性牛を用いたBLVの水平感染防止効果を調査しています。

試験では、つなぎ飼育式のBLV陽性農家において、抵抗性牛（写真2）を感染牛と非感染牛との間の壁として配置し、定期的に感染状況を調査しています。



写真2 現地試験における抵抗性牛（中央）

今年3月に試験を開始して感染状況を追跡していますが、直近の調査時（8月）まで新たな感染は認められていません（図3）。

牛配置および 開始時の状況（3月）		直近の感染状況 （8月）
飼 槽	感染牛	感染牛
	感染牛	
	抵抗性牛 非感染	非感染のまま
	非感染牛	非感染のまま

図3 抵抗性牛を壁とした感染防止効果の確認

最終的な効果の検証は吸血昆虫の活動が落ち着いてからの時期になるため、調査を継続中ですが、現時点においては抵抗性牛を壁とした水平感染防止効果の可能性が確認されました。

4 抵抗性牛の増頭を目指して

上述のとおり県内和牛繁殖雌牛において抵抗性牛は非常に少ないため、活用を進めるには抵抗性牛を増頭させる必要があります。しかしながら、既存の抵抗性雌牛からの後継保留のみでは限界があります。

そのため、当研究所では抵抗性を有する種雄牛や供卵牛を作出して精液や受精卵を供給することで、県内に効率的に抵抗性牛を増やしていきたいと考えています。そこでネックとなるのが産肉能力ですが、これまで調査した中から能力の高い抵抗性雌牛を当研究所に導入したので、今後受精卵を採取して改良に用いる予定です。

将来的には、産肉能力の高い抵抗性種雄牛や雌牛からの精液や受精卵供給を通じて、EBL発生数減少による県内和牛経営の改善に繋がることを期待しています。

〔県民局だより〕

「津山的情熱、奈義の誇り」 ～ultra soulでブランド和牛の魅力を伝えるってばよ!～

美作県民局畜産第一班

1. はじめに

はじめまして。美作県民局畜産第一班の青木麻奈と申します。この春、大学を卒業した新規採用職員で、肉用牛を担当しております。

美作県民局管内は、古くから和牛の生産が盛んで、地域の名前を冠したブランド牛があります。今回は、ブランド牛「つやま和牛」と「なぎビーフ」についてご紹介します。

2. 幻から世界へ！つやま和牛

(1) つやま和牛について

つやま和牛は2014年から肥育が始まり、その2年後に初出荷を迎えました。初めは、出荷頭数が15頭ほどで「幻の和牛肉」と言われていました。現在は、年々出荷頭数が増えており、R6年度では103頭がつやま和牛として出荷されています。

(2) つやま和牛生産者ヘインタビュー

つやま和牛への熱い想いを聞くべく、つやま和牛振興協議会生産者部会の大塚毅（おおさこ つよし）部会長にお話を伺いました。

青木） つやま和牛ならではのこだわりや特徴を教えてください！

大塚） つやま和牛のこだわりは「地域で生まれ育った牛」であること！津山は和牛三大系統のひとつ「藤良」のルーツじゃからな。津山地域で生まれ育った牛を、津山でと畜して、津山のお店に卸し、津山で食べて欲しいわ。観光事業とも連携して、津山

に人を集めてつやま和牛を味わってもらいたいな。

あと、特徴だとつやま和牛は脂の質がいい！融点が低くて、口の中で脂がとろけるからなんぼでも食べれるで！

青木） おいそうですね!! つやま和牛の出荷頭数は年々増加していますが、今後の課題などはありますか？



大塚さんと写真を撮っていただきました☆

大塚） そうじゃなあ。出荷頭数が増えたことで、津山だけでは消費できないことかな。どうやって売るか、流通面に力を入れんといけん段階になってきた。

青木） 最後に、つやま和牛の今後の展望や夢を教えてください！

大塚） もちろん津山で食べてもらうことが大切じゃけど、世界中の人にもつやま和牛の美味しさを知ってもらいたい。夢はドバイ進出！ハラール認証を取得して、イスラム圏に売り出すぞ！こりゃあ大塚の寝言じゃけどな！ハハハ！

大塚さんには約1時間半、情熱溢れるお話をしていただき、最後までユーモアいっぱい楽しいインタビューでした！

3. 黒豆が育てた旨味！なぎビーフ

(1) なぎビーフについて

なぎビーフは、専用の配合飼料と、旨味

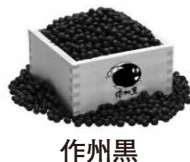
を高めるために勝英地域特産の黒大豆「作州黒」を仕上げ期に給与して育てられています。さらに、第10回全国和牛能力共進会では、肉牛の部で第2位という優れた成績をおさめています。

(2) なぎビーフ生産者ヘインタビュー

そんな、全国でも高い評価を受けるなぎビーフは各農場とも“3代目”と呼ばれる若い世代が後継者として生産の主力になっており、今回、3代目の皆さんに集まっていただき、お話を伺いました。

青木) なぎビーフの「ここが自慢！」というポイントは何ですか？

鷹取) 上物率が高いことです。大阪や姫路市場の共進会でも、負けなくらいの品質を誇っています。また、ヨーロッパの方では「黒豆ビーフ」として認知が広がっています。



花房) カナダでは、なぎビーフを指名買いしてくれるバイヤーもいますよ！

青木) 指名買い！すごいですね、そのような輸出実績や共進会での高い成績を残す秘訣は何でしょうか？

國富宏大) 何と言っても「高い仲間意識」ですね。みんなで良い牛を作ろうという気持ちで、日々切磋琢磨しています。

花房) 情報共有が頻繁に出来ることも大きなメリットですね。

青木) なぎビーフの今後の展望について教えてください。

鷹取) さらに認知度を高め、なぎビーフの評判を広げていきたいです。

花房) ただ、他の有名ブランド牛と比べると、まだ数が少ないので、どこをターゲットにするかは慎重に考えていきたいですね。

鷹取) やっぱり地元で愛されるブランドを目指したいです。



＼3代目のみなさん／

左から細川さん、豊福さん、花房さん、鷹取さん、國富宏大さん、國富雄大さん

花房) 美しいお肉を作ることも大切だけど、おいしいお肉を作りたいですね。脂の質やアミノ酸の改善に向けて、改良を重ねています。

4. おわりに

「つやま和牛」も「なぎビーフ」も、生産者の方々の情熱とこだわりがたくさん詰まったブランド牛でした。今回の取材を通じて、「つやま和牛」や「なぎビーフ」が地元の方々にさらに愛され、国内外問わず多くの人々に知られるよう私も一層力を尽くしていきたいと感じました。

お忙しい中、ご協力いただいた皆さま本当にありがとうございました。

↓以下のQRコードからネットでもお買い求めいただけます。

<つやま和牛>

大塚部会長オススメの食べ方は「すき焼き」だそうです！



津山圏域うまいものセレクトショップ

<なぎビーフ>

花房さんオススメの部位は、お肉の味がしっかり感じられる「モモ」。モモ薄切り肉をさっと焼いて食べるのが美味しいとのこと！



JA晴れの国岡山
オンラインショップ

お肉は火の入れ方で味わいが大きく変わってきます。是非、自分好みの食べ方を見つけてみてください！

〔家保のページ〕

養豚場での埋却予定地試掘調査を行いました

高梁家畜保健衛生所

1 はじめに

岡山県では、令和6年2月に初めて野生いのししにおける豚熱陽性事例が確認されました。令和7年9月には60事例を超え、養豚場では豚熱等の発生に備えて、早急に有効な埋却地を確保しておく必要があります。

そこで本県では、令和6年度から各農場の埋却予定地（以下：予定地）の試掘事業を開始し、その利用の可否を確認しています。

今回は、管内で実施した養豚場の試掘調査について、その概要をお伝えします。

2 埋却予定地の可否

予定地が利用可能であるかの判断には、家畜伝染病予防法に基づく焼却、埋却及び消毒の方法に関する留意事項の次の4項目を参考とし試掘調査の結果と合わせて評価しました。

- (1) 可能な限り、当該農場内又はその近接地とする
- (2) 飼養頭数に応じた広さを確保しておく
- (3) 飲用水源等との距離を確保し、河川、湖、池等に近い場所は可能な限り避ける
- (4) 人家、河川又は道路に近接しない場所であって、日常、人及び家畜は接近しない場所であること

3 埋却予定地の事前調査

試掘の実施に先立ち、関係部署と予定地



図1 事前調査（水脈の確認）

に赴き、面積や、水脈、掘削を行う重機の動線等を調査検討しました（図1）。

その結果、湿地であることや土質が軟弱であるなどの理由から埋却には不適との評価をされた予定地もあり、事前調査により試掘前に埋却計画を変更する農場もありました。

4 試掘の準備及び調査

試掘を行うにあたり、予定地を草や低木が覆っており、すぐには試掘出来ない事例があったため、事前に草刈りと簡単な整地を行いました（図2）。

その後、関係者とともに試掘場所の土質や傾斜、予定地への重機の搬入ルートの確認を行ったのち、試掘を実施しました（図3）。



図2 試掘の準備（草刈りと整地後）



図3 試掘調査の様子

5 試掘結果

実際に試掘をすると湧水や軟弱な土質が確認される事例があり、埋却地として不適となる予定地も散見されましたが（図4）、各養豚場で有効とされた予定地に十分な面積があったことから、実践的な埋却計画に変更することができました。

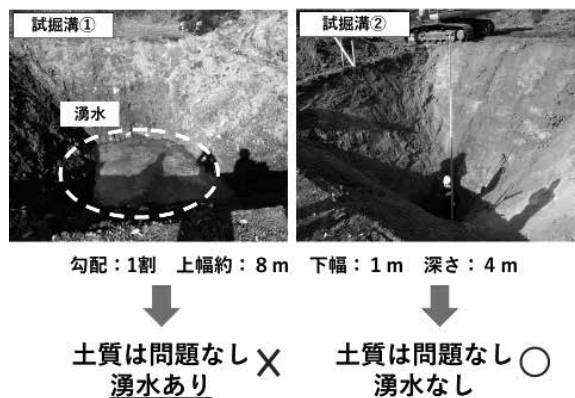


図4 試掘結果の一例

6 予定地の有効性確認以外の成果

試掘を行うことは、予定地の有効性の確認以外にも次の成果がありました。

- (1) 想定していた重機の搬入ルートにおいて予想以上に搬入路の幅が狭く、注意が必要であることが判明するなど、重機を予定地に入れたことで、埋却計画全体を点検確認し見直す機会となりました（図5）。



図5 掘削重機の移動の様子

- (2) 試掘を進める中で、関係機関から埋却溝の設計などの専門性の高い指摘を得る機会となりました。また、指摘事項の検討が難しい場合には、豚の埋却経

験のある県や専門機関から情報や助言を得る機会にもなり、埋却計画を修正、検討するに至りました。

- (3) 予定地の試掘における協力体制

試掘を実施するためには、土木関係技術や関連法令の確認等が必要であり関係機関や団体との協力体制構築の重要性を再認識することとなりました（図6）。

本事業は令和8年度まで続きますので、関係の皆様には、引き続きご助言やご協力をお願いします。

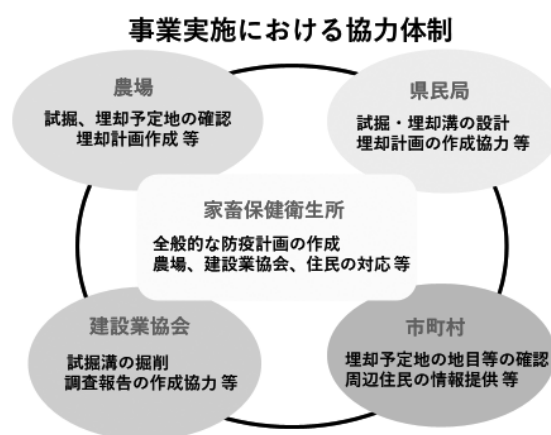


図6 事業実施における協力体制

7 おわりに

現在の試掘事業は、国内で豚熱が散発している状況であることから、養豚場での試掘を最優先に行っています。

しかし、昨年度のランピースキン病の国内初発生や高病原性鳥インフルエンザの連続発生などから、牛や家きんでも埋却の必要性はこれまでになく高まっていると言えます。

家畜伝染病予防法では、「家畜の所有者は、家畜の伝染性疾病の発生を予防し、そのまん延を防止することについて第一義的責任がある」と定められており、家畜の所有者は有効な埋却地の確保が求められています。試掘の実施により予定地の有効性の確認を進め、実践的な防疫体制を整備することで万が一の発生時に備えてまいります。

〔家畜衛生情報〕

牛伝染性リンパ腫の対策に取り組みましょう！ ～補助事業を活用し、感染リスクを減らしましょう～

一般社団法人岡山県畜産協会 家畜衛生部

○牛伝染性リンパ腫とは？

牛伝染性リンパ腫は、牛伝染性リンパ腫ウイルス（BLV）感染により、血液中に異型リンパ球が異常増殖し、リンパ腫を発症する病気です。このウイルスに感染した牛は、血液や乳汁等を介して、他の牛への感染源になります。

BLV感染牛の多くは無症状ですが、数％は数年の潜伏期間後に発症し、生産性が著しく低下、数週間から数か月で死亡します。また、出荷後にと畜場で診断された場合、肉は全部廃棄になるため、大きな経済的損失となります。

○重要 有効な治療やワクチンはありません！

だからこそ、ウイルスを持ち込まない、拡げない対策が重要です。

○県内での発生状況

令和6年次は12戸、64頭（図1）で、1戸あたりの発生頭数が平均約5.3頭となっており、効果的な対策をとっていないと考えられる農場に被害が集中していると思われます。

○どのように感染するの？

牛群内で感染するルートと母牛から子牛へ感染するルートがあります。

【牛から牛への水平感染】

- ・吸血昆虫（アブやサシバエ）
- ・感染牛の血液が付着した物（注射針、直検手袋、器具）
- ・感染牛の分娩後に分娩房をそのまま利用

【母牛から子牛への垂直感染】

- ・BLV感染牛の未処理の乳
- ・産道

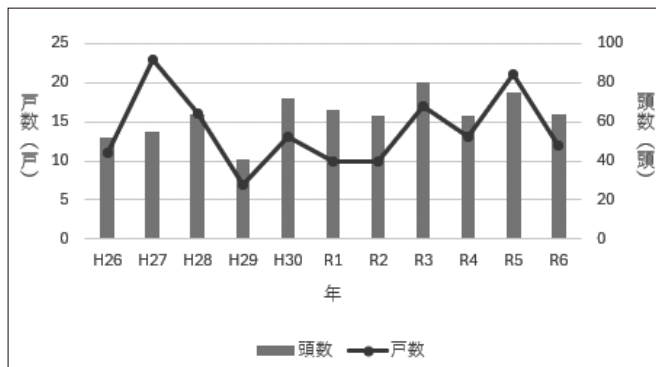


図1 県内の牛伝染性リンパ腫発生状況
農林水産省HP 監視伝染病発生年報より

○農場を守るために、できる対策は？

農林水産省から牛伝染性リンパ腫（牛白血病）に関する衛生対策ガイドライン（以下、ガイドライン）が示されており、牛の飼養者、獣医師、家畜人工授精師、関係機関等が一体となって取り組むことが重要です。

牛伝染性リンパ腫のまん延防止対策は、まずは検査でBLVの感染状況を把握することから始めましょう。そして、農場内での感染拡大を防ぐとともに、血中のプロウイルス量を考慮したうえで、経営状況に配慮しつつ更新の優先度をつけて、感染牛をとう汰することも有効です。

○家畜生産農場衛生対策事業（表1）を活用し、対策に取り組みましょう！

岡山県畜産協会では、「家畜生産農場衛生対策事業」により、ガイドラインに基づいて飼養者が実施する牛伝染性リンパ腫対策の経費を補助しています。補助の内容は、以下の3つです。

- ① 検査費用や陰性証明書の交付料に対する補助
- ② 共同放牧場に対する検査費用や吸血昆虫の忌避駆除費用の補助
- ③ ウイルスを伝播させる可能性が高い牛（以下、高リスク牛とする）のとう汰補助

繰り返しになりますが、対策は、まず農場内の感染状況の把握から始まります。なお、検査の補助は、過去に抗体陽性となった牛の抗体検査は対象外ですので、家畜保健衛生所の指導を受けながら取り組んでください。

家畜生産農場衛生対策事業の概要の詳細は表1をご覧ください。

表1 家畜生産農場衛生対策事業概要

メニュー 要件	・ 検査費 ・ 証明書の交付料	・ 共同放牧場等に係る検査費 ・ 吸血昆虫の忌避駆除費	・ 高リスク牛のとう汰費
対象となる農場	・ ガイドラインに基づく対策に取り組んでいく農場	・ 共同放牧場 ・ ガイドラインに基づく対策に取り組んでいく農場	・ 6か月齢以上の全頭検査を3年以上行い、感染牛を分離飼育している農場 下記①～⑤（※1）のうち、3つ以上実践していること
助成する牛又は内容	・ 過去の検査時に抗体陰性であった牛 ・ 未検査牛 ・ 発症牛 上記を対象とした抗体検査及び抗原検査並びに陰性証明書の交付	・ 共同放牧場への入場前に抗体陰性だった牛及び未検査牛に実施する抗体検査及び抗原検査 ・ 感染牛がいる農場における防虫ネット等の資材費（※2） ・ 感染牛に対するアブ・サシバエの忌避・駆除剤費	・ 乳用又は肉用の繁殖牛 ◎血中のプロウイルス量等を考慮したうえで、高リスク牛を優先して淘汰すること（※3）
補助率	1/2以内	1/2以内 忌避駆除費は、1施設当たり88千円が上限	評価額の2/3から利用額を控除した額以内 （評価額の上限は95万円）
R6実績	抗体検査延べ1,071頭 抗原検査延べ427頭	抗原検査 延べ102頭	0頭

※1 ①人為的な伝播を防止するための対策 ②吸血昆虫対策 ③初乳の加温、凍結又は初乳製剤の使用 ④早期母子分離飼育 ⑤導入牛の隔離・検査

※2 防虫ネットの網目は、アブ対策では1cm以下、サシバエ対策では2mm以下。

※3 血中のウイルス量が少ない低リスクの牛が他の理由によって先に廃用になっても、その時点でリスクが高い牛の順に淘汰した牛が補助の対象となります。



図2 防虫ネットの設置例
高粱大池山育成牧場

〔家畜衛生情報〕

豚の家畜防疫互助基金における 生産者積立金追加納付のお願い

一般社団法人 岡山県畜産協会 家畜衛生部

今期事業対策期間（令和6年度～令和8年度）の家畜防疫互助基金は、豚熱の発生が続き、基金が大幅に減少する見込みのため、生産者積立金の追加納付にご協力をお願いしなければならぬ状況となりました。

また、この機会に万一の豚熱等の発生に備えて、未加入の養豚農家の方が新たに家畜防疫互助基金に加入（追加加入）することも可能となりました。

1. 家畜防疫互助基金支援事業

家畜防疫互助基金支援事業は、畜産経営に重大な影響を及ぼす家畜伝染病が発生した際に、経営再開までに必要な経費を相互に支援するため、生産者自らが積立する仕組みに国が補助する事業です。

2. 豚の生産者積立金について

今期事業対策期間（令和6年度～令和8年度）の豚の生産者積立金は7億2千9百万円となっていますが、これまでに豚熱が発生した農場等12農場への互助金の交付により、生産者積立金の残額は約4割の2億7千8百万円に減少する見込みです。

追加納付の単価は、すでに納付いただいた生産者積立金の0.6倍の額となります（下表）。

表 生産者積立金の単価（円）

家畜の種類	契約区分	家畜の区分	当初の生産者積立金の単価（1頭当たり） A	追加納付生産者積立金の単価（1頭当たり） B=Aの0.6倍	A+B
豚	家族型	繁殖用種豚（雌）	340	204	544
		繁殖用種豚（雄）	340	204	544
		肥育豚	60	36	96
	企業型	繁殖用種豚（雌）	380	228	608
		繁殖用種豚（雄）	380	228	608
		肥育豚	70	42	112

既存加入者：既存の契約頭数に追加納付生産者積立金の単価（B）を乗じた額の追加納付をお願いします。

新規加入者：申込頭数に、当初分と追加納付分を合わせた単価（A+B）を乗じた額の納付をお願いします。

3. 今後の手続き

11月上旬を目途に、養豚農家の皆様へは生産者積立金の追加納付に係るパンフレット、追加納付依頼書を送付させていただきますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

〔共済フレッシュさん〕

転職後半年を終えて

美作家畜診療所 安藤 湧希

皆様こんにちは。美作家畜診療所の安藤湧希と申します。獣医師としては6年目ですがNOSAI岡山の職員としては1年目なので共済フレッシュさんということで書かせてください。

私は岡山県新見市で生まれ育ちました。父が牛を飼っていたことに影響され、幼いころは千屋牛を飼うのが夢でしたが紆余曲折あり獣医師になりました。

大学卒業後はNOSAI鳥取に就職しました。鳥取では繁殖を診る機会が多く、特に受精卵移植にやりがいを感じていました。多いときは月に40頭程度ETしていました。NOSAI岡山では人工授精や受精卵移植の業務がなく、とてもさみしい思いをしています。

ということで今回は受精卵移植のメリットをいくつか紹介しようと思います。

夏場の乳牛の繁殖に困っている農家さんは多いと思います。夏場の受胎率低下の要因の一つとして暑熱ストレスによる影響で卵胞の質が悪くなることが挙げられます。卵胞の質は約2～3か月前の栄養状態を反映するといわれており、暑さのピークが過ぎた10～11月頃までその影響が残ると考えられます。そこで涼しい時期に採卵・凍結した受精卵を移植することで暑熱ストレスによる卵胞の質の低下を回避できるというメリットがあります。

また人工授精において暑熱ストレスの影響を最も受けやすいのは授精後0～2日目だとされています。受精卵移植では暑熱ストレスの影響を受けていない受精卵を用いることで授精後0～2日の暑熱ストレスを回避することができます。暑熱ストレスに

よる受胎率低下の原因はこれだけではありませんが、受精卵移植によって暑熱ストレスの影響を少しでも回避できれば夏場の繁殖成績の向上が期待できます。

その他にも乳用牛に黒毛和種の受精卵を移植することによる和牛生産によって乳代以外の収入が得られること、希少な種雄牛の精液から複数の子牛を得られる可能性があること、優良な雌牛の子牛を短期間で複数生産することができることなどがメリットとして挙げられます。



実家の牛です

最後になりますが、ここまで読んでいただきありがとうございます。私がNOSAI鳥取で新人だった頃、当時の所長が毎日の診療のなかで「日々勉強だ」とよく口にしておりましたが、まさにその通りだと痛感する毎日です。まだまだ未熟者ですが農家の皆様のお役に立てるよう精進します。

〔畜産現場の声〕

試行錯誤の酪農経営

奈義町 松原 敬一

私は、小さい頃から両親が牧場経営をしており、いずれは継ごうと思っておりました。父や母の元気なうちは、外で見聞を広げたいと考えており、岡山県のコンビニで1年、レンタルショップで3年働いたのちに上京、大型の総合ディスカウントストアで13年働きました。結婚して子育てを考えるなか、帰郷し、就農することになりました。

就農当時は両親の牧場作業に混ざるように仕事を始めましたが、酪農についてはほとんど知識がなく、見よう見まねで作業をしていました。苦労したことは、就職してすぐの父の入院です。わからないままに忙しかったことを今でも覚えています。

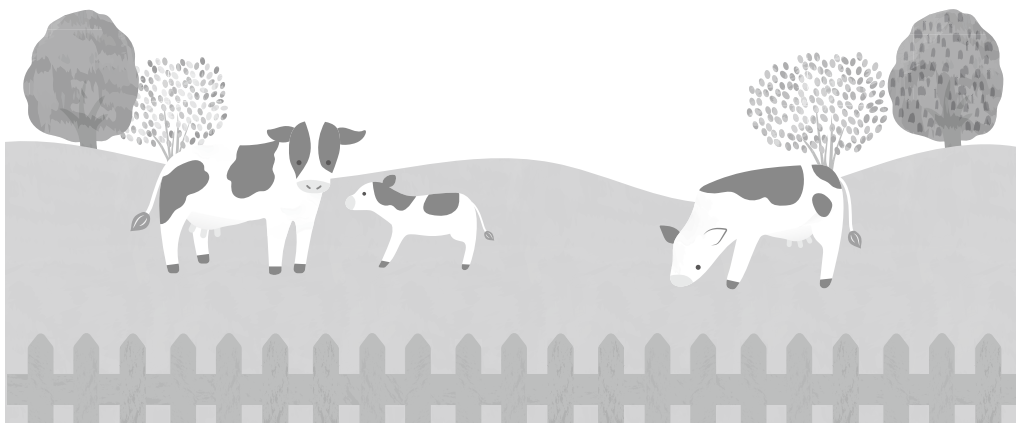
牧場形態は、対尻式のつなぎ牛舎で就農当時と変わらず現在も35～40頭を飼養しております。42歳の経営移譲までに父から1つずつ仕事を学びました。自分なりに試行錯誤を繰り返しながら作業について考えて動くようにしていました。

飼料についてですが、「栄養重視」「牛の体調を一番」に考えた設計を心掛け、頭の

中で1頭ごとに乳量、乳成分を考えながらエサやりをしています。ここでも試行錯誤を繰り返し、エサを少しずつ変えて反応を見ます。牛群検定のデータを活用し、毎月の牛の状態を把握することと自分の目でそれを確かめながら作業をします。現状の牛の状態や経営に満足するのではなくアンテナを伸ばし、少しでも良くなるように改善・改良をしています。

今までの酪農以外の仕事は、肉体的には楽だけど精神的にきつく感じていました。しかし、現在の「酪農」の仕事は肉体的にきついけど、精神的に楽に感じています。仕事の時間を自分で調整することができ、自分思いに仕事ができるため楽に感じられるのだと思います。

今後の予定としては、働ける限り酪農を続けていきたいです。そのために、牧場内整備、自動給餌等省力化を目指し、体に負荷をかけないようにしたいです。また、社会情勢にも敏感になり、柔軟に動けるように試行錯誤を繰り返してより良い牧場経営を目指そうと思います。



動物用 カルシウム剤 ダービー

ダービーは貝化石の
微粉末であり貝化石には
カルシウムや各種ミネラルが
豊富に含まれています。
カルシウムの供給源として
搾乳牛や子牛にも
最適です。



JYUCHIKU Co., Ltd. 株式会社ジュウチク

〒701-1521 岡山県岡山市北区日近 726

Tel.086-295-9230 Fax.086-295-9240

Email : jyuchiku-info@po.oninet.ne.jp

健康な仔牛づくりへの
一歩目はこれから！



弊社では、四十年余り培ってきた醗酵技術を用
いることで、乳酸菌やその他の菌類を使用した良
質な醗酵飼料を、肉用・乳用を問わず、全ての
ステージの牛に対して提供しております。

また、弊社ではこれらの技術を利用したオーダー
品の設計や生産、飼料米の粉碎などの原料の
加工も承っております。

原料を持込での加工依頼や、御要望の数量の
多寡を問わず、まずはお気軽に御相談下さい。

醗酵飼料のパイオニア

フタバ飼料株式会社

〒709-0841 岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1

TEL 086-953-0832 FAX 086-953-1870

E-mail : futabashiryo.co.jp

(公社) 中央畜産会からのお知らせ

畜産映像情報 がんばる! 畜産! 9

畜産現場の“今”を30分の番組にしました!

映像を各種研修会、セミナーにご活用ください!

配信中の内容: ヨーロッパアルプ酪農の力とチーズ
街道 オーストリア・ブレゲンツァー
ヴァルト/日本畜産学会100周年
第132回大会総集編/国際養鶏養豚
総合展2024 総集編 ほか



◀スマートフォンからはこちら

▼パソコンからはこちらで検索

がんばる畜産



お問合せ: (公社) 中央畜産会 経営支援部(情報) TEL03-6206-0846

「知恵久」の特徴を色濃く受け継ぎ、皮下脂肪厚&BMS No.は当団トップクラス! 枝肉はモモ抜け良く、コサシ傾向! 知恵照 ちえてる P産1202 知恵久×美津屋重×百合茂 G育種値 枝重/68,999 11位 BMS 2,740 11位 歩留 1,597 皮下/0.623 10位 ロース芯 5,807 バラ厚 0.814	当団初の「安亀忠」息牛! 圧倒的な増体能力に優れる注目株! 当団No.1の枝重と日齢枝重は短期肥育にも◎ 忠太1 ちゅうた1 P産1232 安亀忠×美津屋重×安茂勝 G育種値 枝重/104,632 1位 BMS 2,230 17位 歩留 1,268 皮下/0.292 ロース芯 10,542 バラ厚 1.325 3位	島取県の高能力雌牛「ななみ」から「知恵久」息牛! 脂肪酸組成に優れ、文を超える増体能力に注目! 武知恵 たけちえ P産1203 知恵久×白鰐85の3×百合茂 G育種値 枝重/31,479 BMS 2,104 18位 歩留 1,294 皮下/0.685 8位 ロース芯 5,424 バラ厚 0.524	北海道を代表する高能力雌牛「てつせん」より「若百合」息牛! 枝肉形質は欠点なく、発育関連形質にも魅力あり! 若幸久 わかさちひる P産1206 若百合×幸紀雄×安亀久 G育種値 枝重/33,606 BMS 1,276 歩留 2,526 5位 皮下/0.334 ロース芯 18,438 4位 バラ厚 0.290	脂肪酸組成に優れた能力を受け継ぐ当団初の「舞希雄」息牛! 枝肉重量の改良力は田原系種雄牛当団No.1の実力派! 伊勢之舞 いせのまい P産1198 舞希雄×美穂園×忠吉士 G育種値 枝重/63,015 12位 BMS 1,131 歩留 0.951 皮下/0.494 ロース芯 13,809 15位 バラ厚 0.540 20位
--	--	---	--	--

令和3年度現場検定 一多様なニーズに応える実力派が集結!

新規選抜種雄牛



岡山種雄牛センター
TEL: 0868-57-2475



食卓からの、 ありがとう。

私たちがおいしい牛乳やお肉、

卵を食べられるのは、

畜産に携わるすべての人のおかげです。

さまざまな人の努力や想いがあるからこそ、

今日の食卓が豊かになっている。

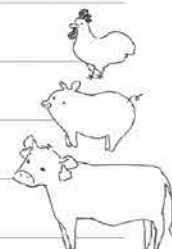
そのことを、私たちは知っています。

おいしい国産の畜産物が、

この先も続いていくように。

豊かな畜産の未来に向かって、

できることを続けます。



国産の牛乳、お肉、卵を 食べてまもう。



地方競馬と全国の畜産会組織は
日本の畜産を応援しています。
地方競馬の売上の一部は、地域のくらしや畜産の振興に
役立てられています。

<https://jlla.lin.gr.jp/tekiseikakaku/>

公営社団法人

中央畜産会

JAPAN LIVESTOCK
INDUSTRY ASSOCIATION



一般社団法人

岡山県畜産協会

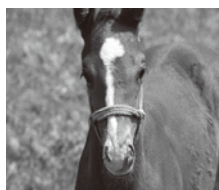


地方競馬の収益金の一部は国内の畜産振興に役立てられています。

11月						12月						
開催日			備 考			開催日			備 考			
1	土	○	ナイター	17	月		1	月		17	水	
2	日	○	ナイター	18	火		2	火		18	木	
3	月			19	水		3	水		19	金	
4	火			20	木		4	木		20	土	○ ナイター
5	水			21	金		5	金		21	日	○ ナイター
6	木			22	土		6	土	○ ナイター	22	月	
7	金			23	日	○ ナイター	7	日	○ ナイター	23	火	
8	土	○	ナイター	24	月	○ ナイター	8	月		24	水	
9	日	○	ナイター	25	火		9	火		25	木	
10	月			26	水		10	水		26	金	
11	火			27	木		11	木		27	土	
12	水			28	金		12	金		28	日	○ ナイター
13	木			29	土	○ ナイター	13	土	○ ナイター	29	月	○ ナイター
14	金			30	日	○ ナイター	14	日	○ ナイター	30	火	
15	土	○	ナイター				15	月		31	水	◎ 夕焼けいば
16	日	○	ナイター				16	火				

令和7年10月7日(火) 備前市の「和ちゃんのにびり牧場」にて3県交流会を開催しました。当牧場の馬場氏は、岡山県を退職後、長年の夢であった繁殖経営を開始されました。現在、4年が経過、親牛6頭、育成牛4頭を飼養されています。馬場氏から「岡山県の特徴をもった牛を育てたい。」と語られ、牧場内の視察が行われました。他県の参加者からは、「牛がおとなしく、背線もきれいで、大切に育てられていることがわかった。」「観察をしっかりとられ、牛の飼い方の基本に立ち返ることができた。」との感想があげられました。衛生上の配慮もあり、限られた人数での交流会でしたが、それぞれの飼料作りの苦労話や機械の話など、打ち解けた雰囲気、盛会のうちに終了となりました。

印刷所 ノーイン株式会社



動物の健康は 人の健康につながる

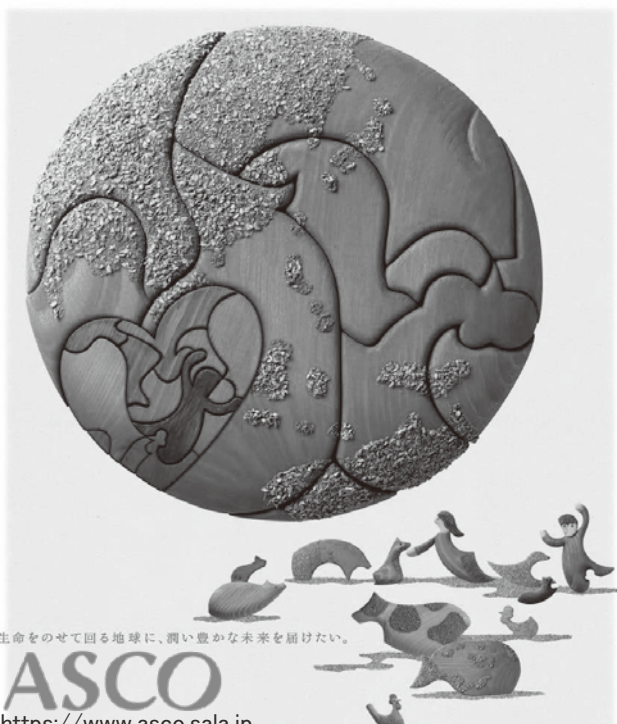
- 動物用医薬品販売の全国ネットワークを駆使し、あらゆる動物の健康維持に貢献します。
- 安全な畜水産物の生産をサポートし、獣医療の発展と食の安全・安心に貢献します。

MPアグロ株式会社

本社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13
TEL 011(376)3860 FAX 011(376)2600

岡山支店 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1-1 TEL 086-724-4880 FAX 086-724-4889
AHSC西日本 〒702-8032 岡山市南区福富中2丁目6-18 TEL 086-902-2200 FAX 086-264-2500
御津物流センター 〒709-2122 岡山市北区御津吉尾1-1 TEL 086-724-4816 FAX 086-724-4882
東京本部・札幌・旭川・函館・帯広・北見・釧路・青森・秋田・盛岡・山形・仙台・東京・北関東
大阪第一・大阪第二・兵庫・広島・山口・鳥取・島根・高松・徳島・松山・宇和島
福岡オフィス・福岡第一・福岡第二・熊本・宮崎・鹿児島・鹿屋
札幌物流センター・帯広物流センター・盛岡物流センター・関東物流センター

人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します



本社

〒441-8021
愛知県豊橋市白河町100番地
TEL 0532-34-3821 FAX 0532-33-3611

東京本社

〒103-0027
東京都中央区日本橋1丁目16番地3号
日本橋木村ビル7階
TEL 03-6225-5790 FAX 03-6225-5791

営業所

- ・北海道支店
札幌
- ・東日本支店
前橋、松本、旭、茨城、栃木、東京
大宮、宮城、福島
- ・中日本支店
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店
広島、山口、米子、岡山、大阪、京都

生命をのせて回る地球に、潤い豊かな未来を届けたい。

ASCO

<https://www.asco.sala.jp>